

## アンケート調査の概要

「住民自治によるまちづくり」を推進するうえで、自治連合会等の地域でまちづくり活動を行っている団体の皆さんが地域活動についてどのような意識を持ち、どのような要望を持っているかを調査することは重要である。そのため、今年も昨年に引き続きアンケート調査を実施する。

そこで、「住民自治によるまちづくり」を推進するため、その基本となるまちづくり推進計画の策定等に関し、広く地域住民の意見を聴取する場として、市内17か所で行った「まちづくり集会」の参加者を対象に、最終頁資料のとおりアンケート調査を行った。アンケート結果の概要は次のとおりである。

○実施期間：2014年8月23日～10月18日

○配布対象：まちづくり集会参加者（自治連合会、PTA（小・中学校）、まちづくり団体、民生児童委員協議会、老人クラブ、スポーツ振興会・体育協会、婦人会、農業関係団体、商工会・商工振興会、保健推進協議会、消防団、食生活改善推進協議会、青少年健全育成協議会等）

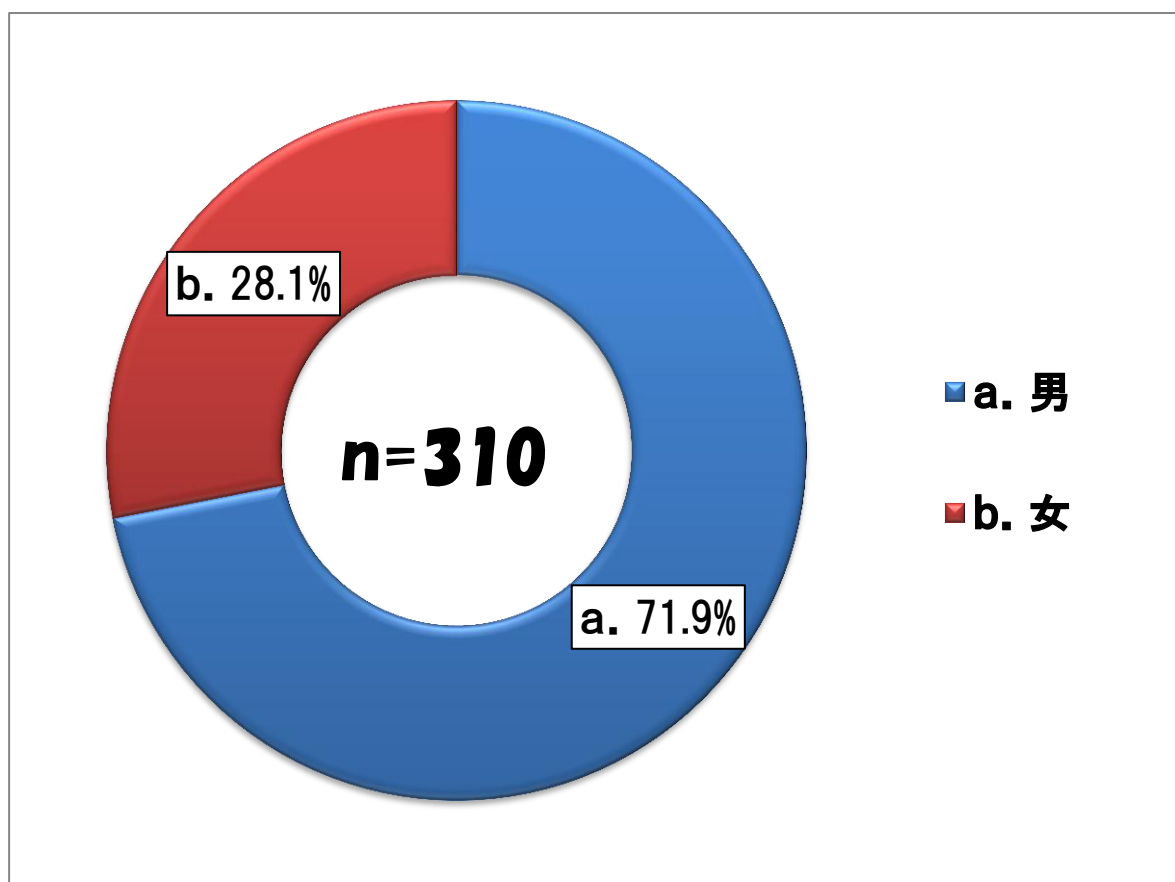
○サンプル数：332人配布、内310人回収、回収率93.4%

○まちづくり集会の開催地区：市内17地区

【本庁管内4地区、総合支所管内4地区、支所管内9地区】

●アンケート結果の分析

①あなたの性別をお答えください。



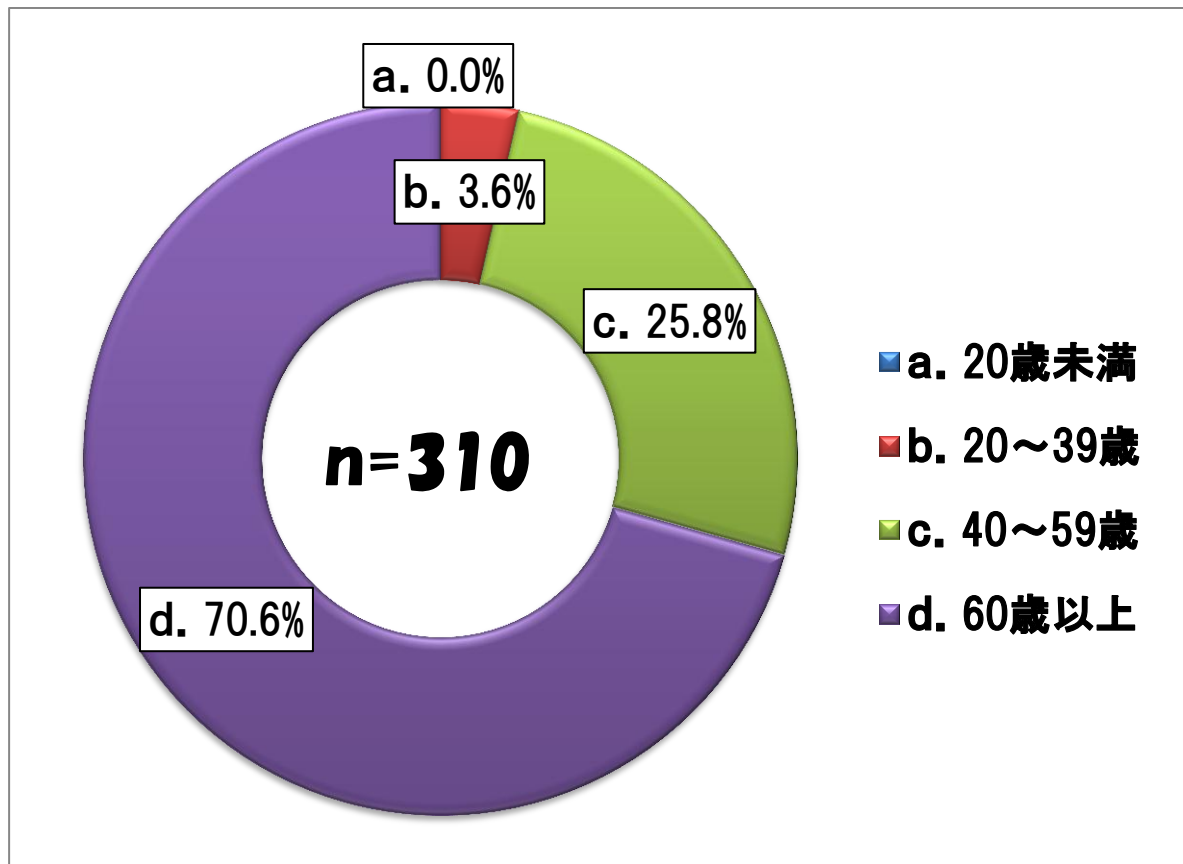
「男性」が223人(71.9%)、「女性」が87人(28.1%)であり、「女性」の人数は「男性」の半分以下である。「女性」の参加者は、婦人会、保健推進委員会、食生活改善推進協議会、女性団体連絡協議会からが主であり、それ以外の団体では「男性」の参加者が多くなっている。

地区別に見ると、吉見、長府、勝山地区が「女性」の比率が高く、安岡、豊北地区で「女性」の比率が低くなっている。まちづくり集会の中では、今後、「女性」の参加者を増やすよう呼びかけている。

	地区名	1. あなたの性別をお答えください。		合計
		a. 男	b. 女	
1	菊川地区	13	7	20
2	安岡地区	12	2	14
3	吉見地区	5	5	10
4	川中地区	11	4	15
5	東部5地区	26	9	35
6	長府地区	7	10	17
7	長成地区	11	6	17
8	向洋地区	10	5	15
9	山の田地区	11	6	17
10	東部・中央部地区	17	4	21
11	彦島地区	11	3	14
12	西部地区	14	3	17
13	豊浦地区	16	5	21
14	豊北地区	21	3	24
15	勝山地区	11	8	19
16	内日地区	14	4	18
17	豊田地区	13	3	16
<b>総合計</b>		<b>223</b>	<b>87</b>	<b>310</b>

※地区名については、まちづくり集会を開催した順番である。

②あなたの年齢をお答えください。

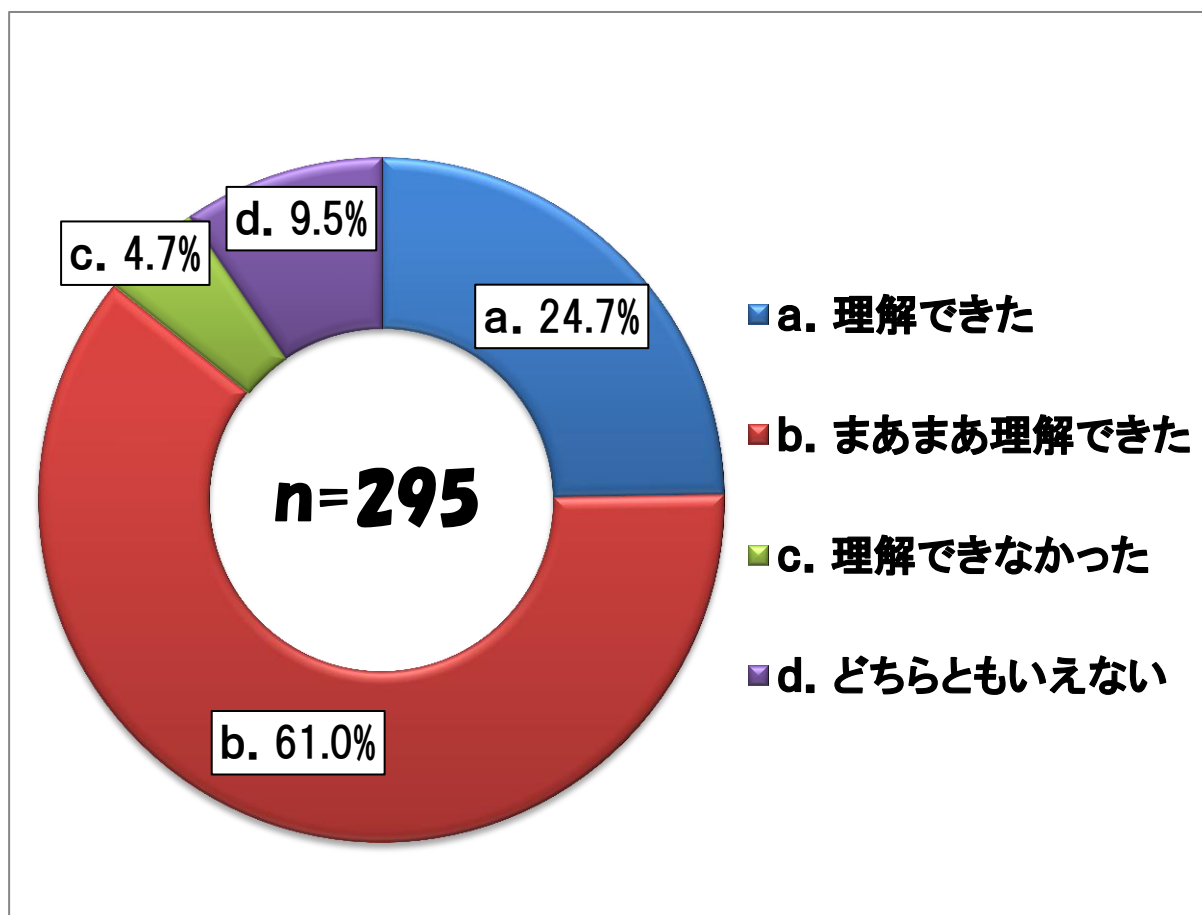


参加者の年齢は「20歳未満」が0人、「20～39歳」が11人（3.6%）、「40～59歳」が80人（25.8%）、「60歳以上」が219人（70.6%）であり、60歳以上が圧倒的に多い。まちづくり集会の中でも、若い参加者を望む声は多いが、「20～39歳」、「40～59歳」では仕事との両立が難しいという声がある。今回の参加者において、「20～39歳」、「40～59歳」はPTAや子ども会、母親クラブ等が考えられるが、子育てが終了した時点で、それぞれの団体の役を引退するという慣例になっているため、新しい制度を検討する必要がある。

地区別に見ても、全ての地区において「60歳以上」が1番多くなっている。平均寿命も延びており、高年齢まで団体の役員をしている例が多く、共通した課題としては、役員の高齢化、後継者不足があげられている。

	地区名	2. あなたの年齢をお答えください。				合計
		a. 20歳未満	b. 20～39歳	c. 40～59歳	d. 60歳以上	
1	菊川地区	0	1	6	13	20
2	安岡地区	0	0	5	9	14
3	吉見地区	0	2	3	5	10
4	川中地区	0	0	5	10	15
5	東部5地区	0	0	9	26	35
6	長府地区	0	0	4	13	17
7	長成地区	0	1	3	13	17
8	向洋地区	0	0	4	11	15
9	山の田地区	0	0	3	14	17
10	東部・中央部地区	0	2	6	13	21
11	彦島地区	0	1	2	11	14
12	西部地区	0	2	4	11	17
13	豊浦地区	0	1	6	14	21
14	豊北地区	0	0	4	20	24
15	勝山地区	0	0	7	12	19
16	内日地区	0	0	5	13	18
17	豊田地区	0	1	4	11	16
総合計		0	11	80	219	310

③「住民自治によるまちづくり」について理解できましたか？

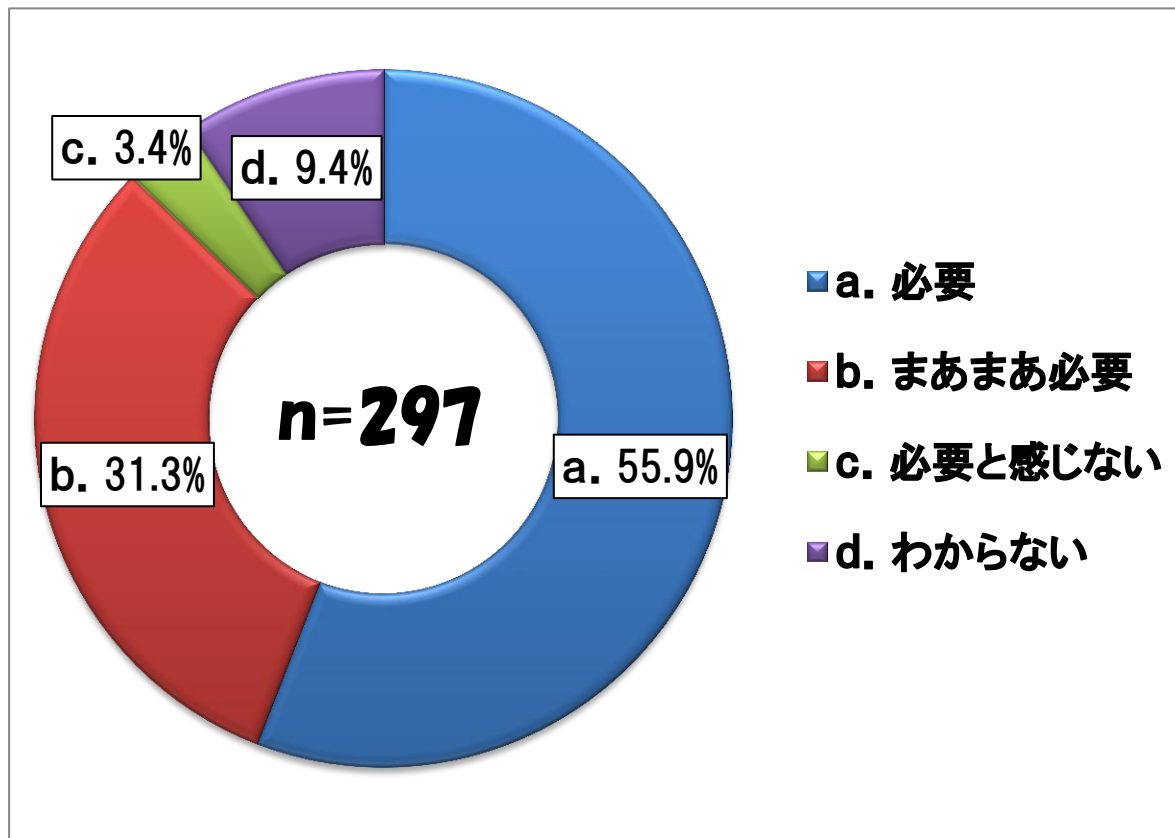


「住民自治によるまちづくり」について「理解できた」が73人(24.7%)、「まあまあ理解できた」が180人(61.0%)であり、「理解できた」と「まあまあ理解できた」を合わせると253人(85.7%)になる。おおむね理解されたといえるが、「理解できなかった」が14人(4.7%)、「どちらともいえない」が28人(9.5%)いることは今後の課題である。このたびのまちづくり集会で初めて、「住民自治によるまちづくり」について聞いたという方がいたこともあるかと思うが、今後、さらに広報や説明会を行う必要がある。

地区別に見ると、菊川、吉見、向洋、山の田地区で「理解できた」と「まあまあ理解できた」を合わせると100%になる。一方、長成、西部、勝山、豊田地区で「理解できなかった」と「どちらともいえない」を合わせた比率が高くなっている。

	地区名	3.「住民自治によるまちづくり」について理解できましたか？				合計
		a. 理解できた	b. まあまあ理解できた	c. 理解できなかった	d. どちらともいえない	
1	菊川地区	4	15	0	0	19
2	安岡地区	1	10	1	0	12
3	吉見地区	3	6	0	0	9
4	川中地区	6	8	0	1	15
5	東部5地区	13	18	0	2	33
6	長府地区	4	10	0	2	16
7	長成地区	2	11	2	4	19
8	向洋地区	2	12	0	0	14
9	山の田地区	6	11	0	0	17
10	東部・中央部地区	5	13	0	1	19
11	彦島地区	1	9	1	2	13
12	西部地区	3	6	5	3	17
13	豊浦地区	5	14	1	1	21
14	豊北地区	9	10	1	2	22
15	勝山地区	2	11	2	4	19
16	内日地区	4	12	0	2	18
17	豊田地区	3	4	1	4	12
総合計		73	180	14	28	295

④今後、下関市において「住民自治によるまちづくり」が必要と思いますか？



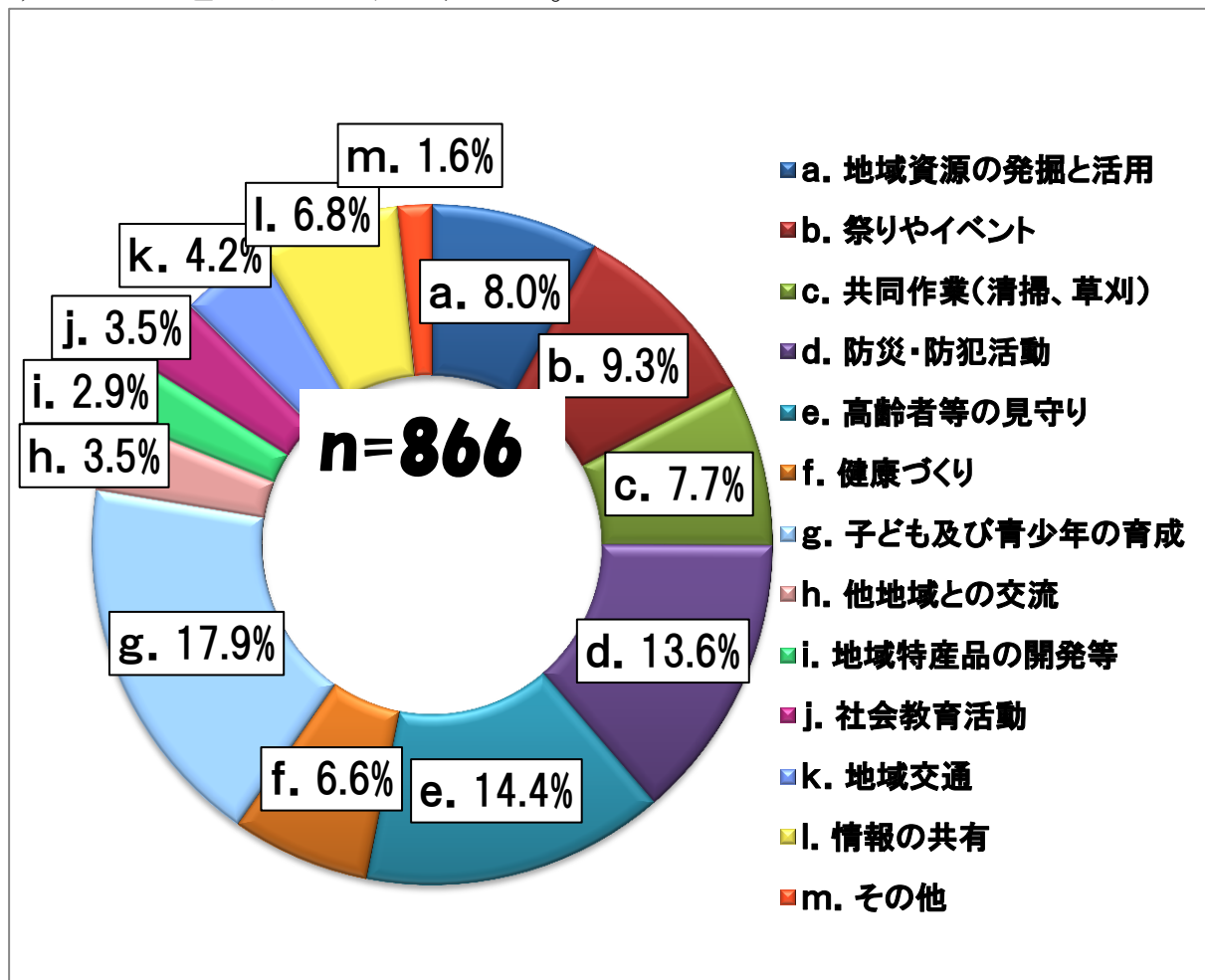
今後、下関市において「住民自治によるまちづくり」が「必要と思っている」が166人（55.9%）、「まあまあ必要と思っている」が93人（31.3%）であり、「必要と思っている」と「まあまあ必要と思っている」を合わせると259人（87.2%）になる。市内全域で「必要と思っている」が一番多く、「必要と感じない」は10人（3.4%）であるが、「わからない」が28人（9.4%）もいるため、今後は引き続き説明会を開催し、理解してもらえるよう努めていかなければならない。

地区別に見ると、「必要と感じない」が0人で、「必要と思っている」と「まあまあ必要と思っている」を合わせた比率が高いのは菊川、安岡、吉見、東部5、東部・中央部、豊浦、内日地区である。一方、「必要と思っている」と「まあまあ必要と思っている」を合わせた比率が低いのは西部、勝山地区である。



	地区名	4. 今後、下関市において「住民自治によるまちづくり」が必要とご思いますか？				合計
		a. 必要	b. まあまあ必要	c. 必要と感じない	d. わからない	
1	菊川地区	12	7	0	0	19
2	安岡地区	6	4	0	1	11
3	吉見地区	6	3	0	1	10
4	川中地区	11	3	1	0	15
5	東部5地区	24	9	0	1	34
6	長府地区	10	4	0	3	17
7	長成地区	9	6	1	2	18
8	向洋地区	6	7	0	2	15
9	山の田地区	13	3	1	0	17
10	東部・中央部地区	10	9	0	1	20
11	彦島地区	4	6	0	3	13
12	西部地区	5	4	3	5	17
13	豊浦地区	15	5	0	1	21
14	豊北地区	12	7	1	2	22
15	勝山地区	4	7	1	4	16
16	内日地区	11	4	0	1	16
17	豊田地区	8	5	2	1	16
<b>総合計</b>		<b>166</b>	<b>93</b>	<b>10</b>	<b>28</b>	<b>297</b>

⑤今後、あなたの地区で重点的に取り組むべきことは、どのようなものと思いますか？3つ選び○をつけてください。



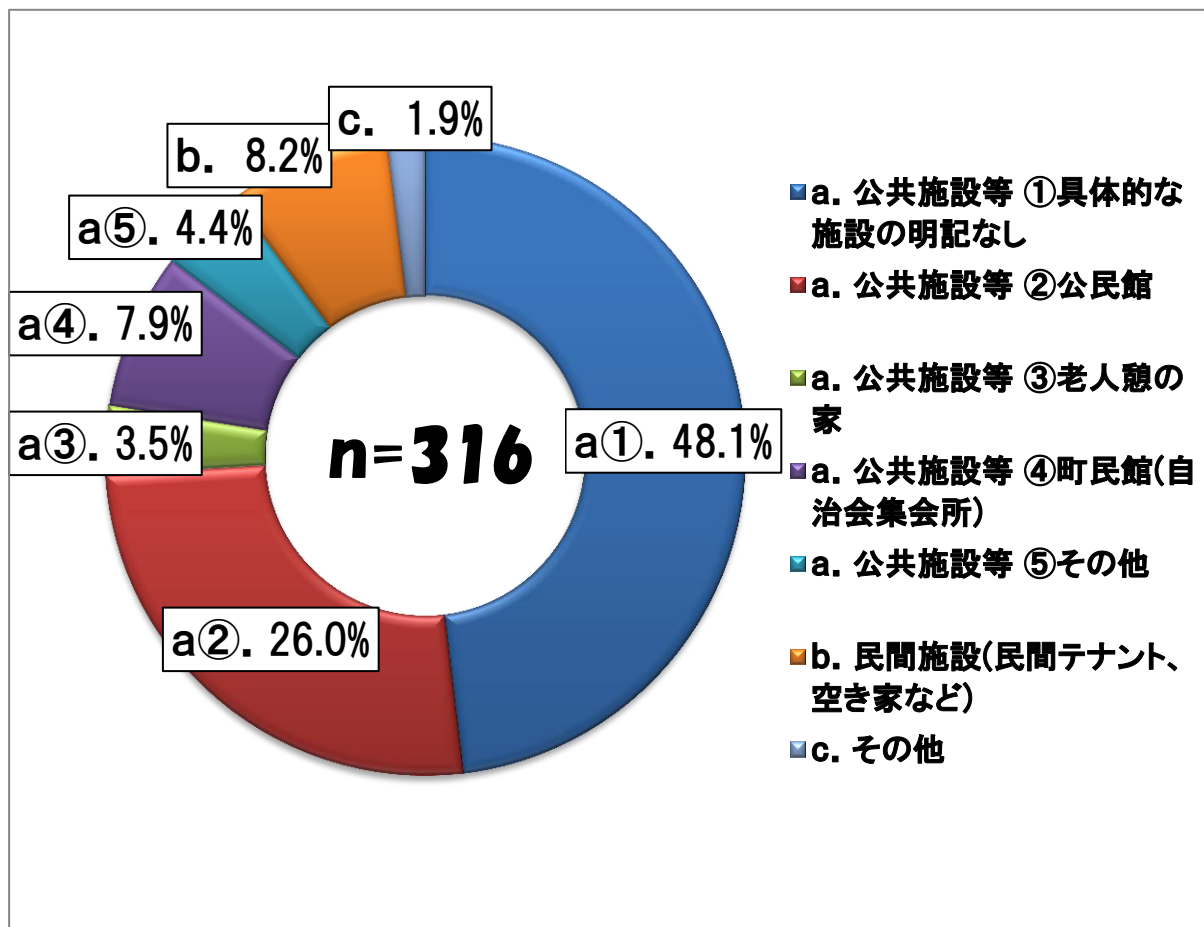
地域において重点的に取り組むべき課題として回答の多かった順では、「子ども及び青少年の育成」が155人（17.9%）、「高齢者等の見守り」が125人（14.4%）、「防災・防犯活動」が118人（13.6%）である。昨年のもちづくり集会開催後にも同様のアンケートを行ったが、回答が多かった上位3項目は同様であり、少子高齢化社会を反映した項目が重要課題として考えられている。

その他の項目でも昨年同様、「地域資源の発掘と活用」や「祭りやイベント」、「共同作業（清掃、草刈）」などの地域の活性化に関する項目が重要と考えられている。

地域独特の課題としては、吉見、豊北地区で「地域交通」を重要と考える比率が高くなっている。

地区名	5. 今後、地域において重点的に取り組むべきと思う事はどのようなものだと思いますか？											合計			
	a. 地域 資源の発 掘と活用	b. 祭りや イベント	c. 共同 作業(清 掃、草 刈)	d. 防災・ 防犯活動	e. 高齢 者の見 守り	f. 健康づ くり	g. 子ども 及び青少 年の育成	h. 他地 域との交 流	i. 地域特 産品の開 発等	j. 社会教 育活動	k. 地域 交通		l. 情報の 共有	m. その他	
1 菊川地区	5	5	6	4	8	6	8	1	1	2	1	4	1	美味しい米作り	52
2 安岡地区	2	5	2	9	6	4	11	0	0	1	0	3	0		43
3 吉見地区	4	3	2	2	2	1	4	3	1	1	3	1	1	地域防災対策	28
4 川中地区	1	2	3	9	7	4	11	2	0	2	2	4	0		47
5 東部5地区	8	9	7	14	8	2	19	5	6	2	8	9	2	・町通りのにぎわい、産業振興 ・部会の立ち上げと推進活動	99
6 長府地区	3	3	3	6	8	4	9	2	1	2	3	3	0		47
7 長成地区	1	4	3	4	5	2	7	1	0	2	1	2	2	・高齢者の通院、買い物物の支援← 最も最大の問題となっている。 ・道路の整備	34
8 向洋地区	0	4	3	5	8	4	5	0	0	1	1	5	0		36
9 山の田地区	3	4	7	5	6	5	9	0	0	2	1	4	0		46
10 東部・中央部地区	4	5	3	12	13	5	10	1	0	0	0	3	0		56
11 彦島地区	3	8	5	7	7	2	5	1	0	1	0	2	1	地域活動実践者の育成	42
12 西部地区	1	6	4	10	9	5	6	3	0	1	2	2	0		49
13 豊浦地区	6	3	5	9	10	6	9	3	4	2	2	2	1	リーダー育成	62
14 豊北地区	11	7	5	5	11	1	7	4	6	1	8	4	1	・児童・生徒の減 ・空き家対策と進め方	71
15 勝山地区	3	3	5	8	6	3	11	1	0	4	2	4	2	・全て ・情報の発信	52
16 内日地区	9	4	1	5	7	0	13	0	4	3	1	4	1	人口の増加、子どもの増加	52
17 豊田地区	5	6	3	4	4	3	11	3	2	3	1	3	2	・雇用の場づくり ・以前から組織されている各種団 体の活性化と支援	50
総計	69	81	67	118	125	57	155	30	25	30	36	59	14	-	866

⑥あなたの地区の「まちづくり協議会」の活動拠点として、活用したいと思う施設はどこですか？



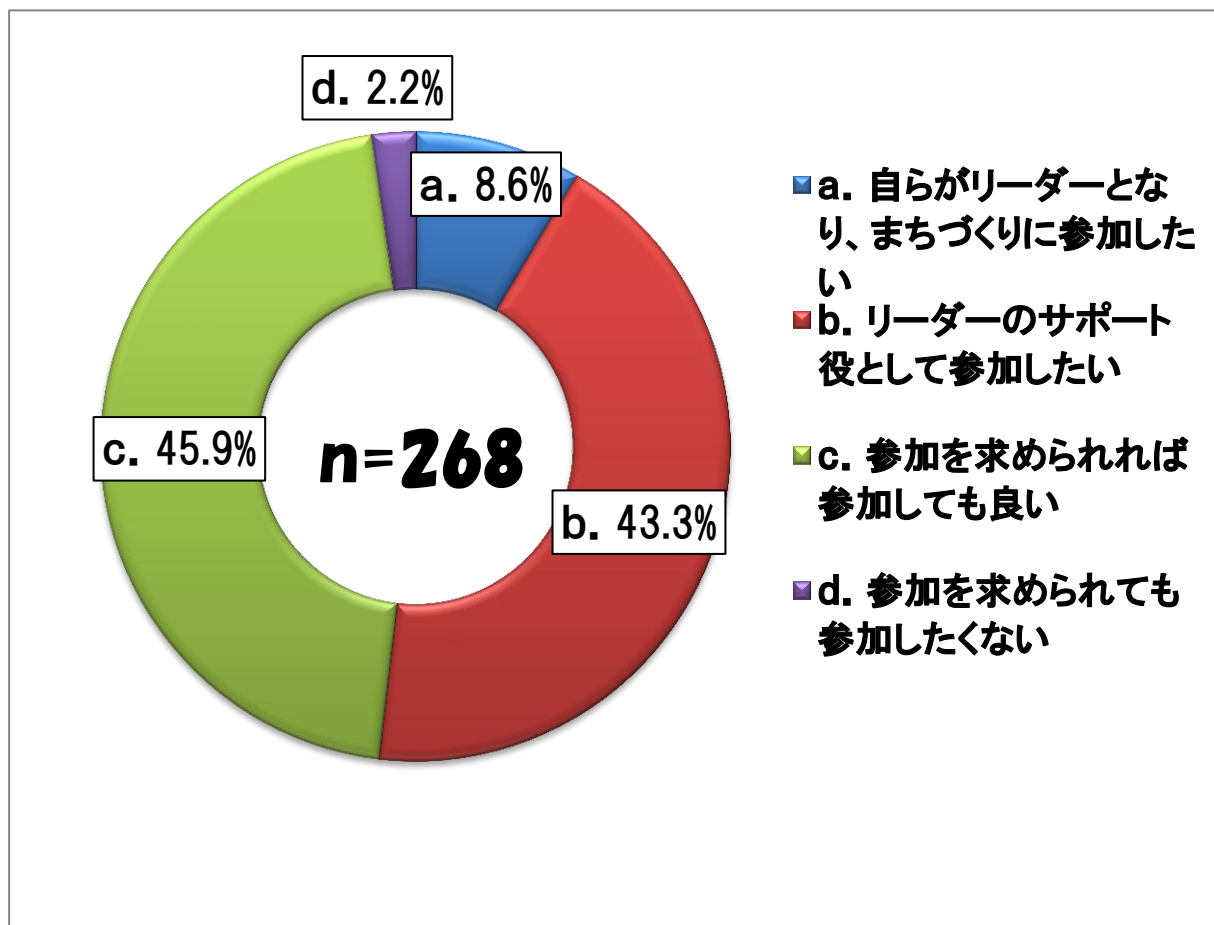
まちづくり協議会の活動拠点として活用したいと考えられる施設は、公共施設等が 284 人（89.9%）と最も多く、その中で回答の多かった順は「具体的な施設の明記なし」が 152 人（48.1%）、「公民館」が 82 人（26.0%）、「町民館（自治会集会所）」が 25 人（7.9%）となっている。

「民間施設（民間テナント、空き家など）」を活用したいという回答は、川中、東部・中央部、豊浦地区でやや比率が高くなっている。

公共施設の中では気軽に集まれる場所として、12 支所、4 総合支所、西部地区では「公民館」という回答が多く、本庁管内の向洋地区では「学校の空き教室」、山の田、東部・中央地区では「町民館（自治会集会所）」という回答の比率が高くなっている。

地区名	6. あなたの地区の「まちづくり協議会」の活動拠点として、活用したいと思う施設はどこですか？										合計		
	a. 公共施設等					b. 民間施設(民間テナント、空き家など)							
	①具体的な施設 記なし	②公民館	③老人憩 の家	④町民館 (自治会集 会所)	⑤その他							c. その他	
1 菊川地区	9	4	3	1	2					1	1	自然活用村の活用	21
2 安岡地区	6	7	0	1	0					0	0		14
3 吉見地区	7	2	0	0	0					1	0		10
4 川中地区	6	6	0	1	1			駐車場がある所		3	0		17
5 東部5地区	19	12	2	0	1			東部5地区の中心となる施設を作る		2	0		36
6 長府地区	10	4	0	0	1			公園等		2	1	健康づくりに必要な施設を増設したい	18
7 長成地区	4	8	0	2	0					0	0		14
8 向洋地区	5	1	0	2	4			・中学校 ・学校(向洋) ・学校 ・市民センター		0	1	中学校の空き教室	13
9 山の田地区	9	3	2	4	1			・町民館がないので集会所が欲しい。 ・学校		1	1	商業施設の一部を活用	21
10 東部・中央部地区	9	0	0	6	1			公民館? 貴船なし		4	0		20
11 彦島地区	10	2	0	1	0					0	0		13
12 西部地区	6	5	0	2	1			・行政窓口を一カ所で連絡出来る様に ・自治会集會 ・第三幼稚園		1	0		15
13 豊浦地区	10	3	1	1	0					3	2	・どちらでも ・山口銀行小串支店 ・小さな団体から広げる(自治会中心)	20
14 豊北地区	13	4	1	1	1			旧栗野保育園		3	0	空き家	23
15 勝山地区	9	10	0	1	0					1	0		21
16 内日地区	11	6	2	0	0					2	0	空き家など	21
17 豊田地区	9	5	0	2	1			集会所		2	0		19
<b>総合計</b>	<b>152</b>	<b>82</b>	<b>11</b>	<b>25</b>	<b>14</b>			-		<b>26</b>	<b>6</b>	-	<b>316</b>

⑦あなた自身は、どのようにまちづくりに参加しようと考えていますか？



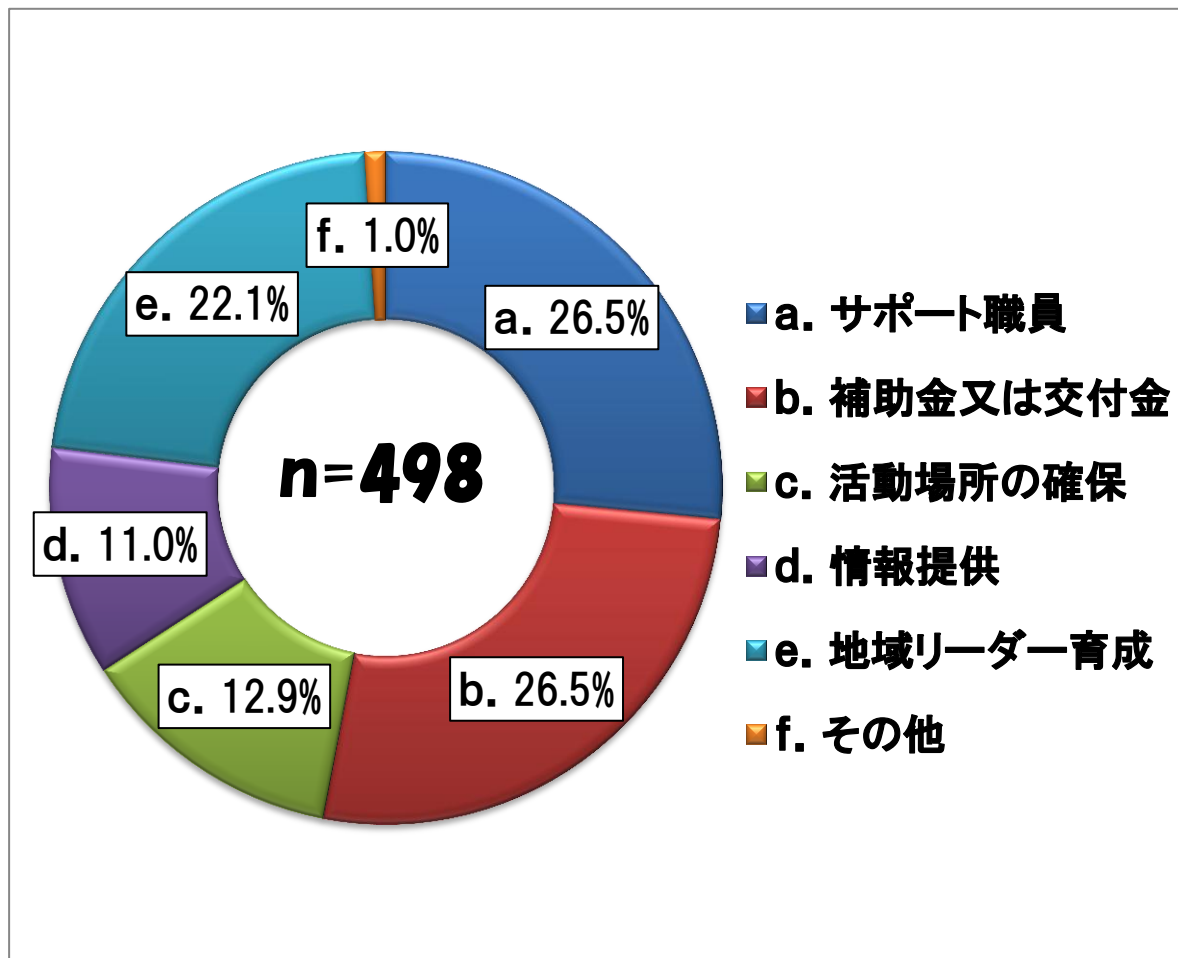
どのようにまちづくりに参加しようと考えているかという問いに対して、「参加を求められれば参加しても良い」が123人（45.9%）と一番多く、「リーダーのサポート役として参加したい」が116人（43.3%）と次に多かった。

リーダーのとらえ方もあるかと思うが、「自らがリーダーとなり、まちづくりに参加したい」という積極的な回答が23人（8.6%）あったということは今後、「住民自治によるまちづくり」を推進するうえで、明るい材料と言える。一方、「参加を求められても参加したくない」という回答が6人（2.2%）あることは今後の課題であり、さらに理解を求めていく必要がある。

地区別に見て、目立った傾向はないが、「自らがリーダーとなり、まちづくりに参加したい」と「リーダーのサポート役として参加したい」を合わせた割合が60%を超える地区は安岡、川中、東部5、長府、彦島、豊田地区である。

	地区名	7. あなた自身は、どのようにまちづくりに参加しようと考えていますか？				合計
		a. 自らがリーダーとなり、まちづくりに参加したい	b. リーダーのサポート役として参加したい	c. 参加を求められれば参加しても良い	d. 参加を求められても参加したくない	
1	菊川地区	4	6	7	1	18
2	安岡地区	1	8	5	0	14
3	吉見地区	0	3	3	0	6
4	川中地区	2	8	3	0	13
5	東部5地区	4	15	10	1	30
6	長府地区	0	10	5	1	16
7	長成地区	1	6	11	0	18
8	向洋地区	0	5	7	1	13
9	山の田地区	1	8	8	0	17
10	東部・中央部地区	2	6	10	0	18
11	彦島地区	1	7	4	1	13
12	西部地区	0	4	8	0	12
13	豊浦地区	1	6	8	0	15
14	豊北地区	4	4	12	0	20
15	勝山地区	1	6	11	0	18
16	内日地区	0	6	7	0	13
17	豊田地区	1	8	4	1	14
総合計		23	116	123	6	268

⑧今後、地域活動を推進していくうえで、特に行政に対して何を求めますか？  
2つ選び○をつけてください。



地域活動を推進していくうえで、特に行政に対する求めに関しては、「サポート職員」と「補助金又は交付金」が132人（26.5%）と同数で最も多く、続いて、「地域リーダー育成」が110人（22.1%）となっている。昨年のまちづくり集会開催後にも同様のアンケートを行ったが、順番は違うものの回答が多かった上位3項目は同様である。

地区別に見ると、特徴的なのは安岡地区で「活動場所の確保」、勝山地区で「情報提供」の比率が高くなっている。また、安岡地区で「サポート職員」、山の田地区で「補助金又は交付金」の比率が低くなっている。



	地区名	8. 今後、地域活動を推進していくうえで、特に行政に対して何を求めますか？2つ選び○をつけてください。						合計	
		a. サポート職員	b. 補助金又は交付金	c. 活動場所の確保	d. 情報提供	e. 地域リーダー育成	f. その他		
1	菊川地区	15	10	4	3	6	0		38
2	安岡地区	3	9	9	2	4	2	・活動を行うための妥当性の確認をしっかりと行って欲しい ・駐車場の確保	29
3	吉見地区	4	3	0	1	3	0		11
4	川中地区	6	8	2	2	5	0		23
5	東部5地区	15	13	5	3	13	1	市職員のレベルUP	50
6	長府地区	8	5	6	5	9	0		33
7	長成地区	8	8	2	3	6	0		27
8	向洋地区	5	7	2	4	5	0		23
9	山の田地区	6	3	5	5	9	0		28
10	東部・中央部地区	12	7	5	4	9	0		37
11	彦島地区	8	7	4	2	6	0		27
12	西部地区	8	4	2	2	4	0		20
13	豊浦地区	8	7	4	3	7	1	・官民連携 ・共働	30
14	豊北地区	8	13	3	4	8	1	個人情報がかせになっている	37
15	勝山地区	5	11	6	7	4	0		33
16	内日地区	8	7	0	3	7	0		25
17	豊田地区	5	10	5	2	5	0		27
総合計		132	132	64	55	110	5	-	498

⑨住民自治によるまちづくりに関して、ご意見がありましたらご記入ください。  
(原則、原文のとおり記載しています。)

**【菊川地区】**

- ①大至急実施する様。
- ②・「住民自治によるまちづくり」は地区民にとって必要と思う。
  - ・会を立ち上げるのに、大きな問題は自主財源確保ではないかと思う。
  - ・設立準備会のための、説明会は是非必要と思う。
- ③大変良い事と思うが、まだ構成の姿が見えない。
- ④この様な活動を始めるにあたって、当初は行政がリードしていかなければ(リーダーシップ)進んでいかないだろうと思います。ついては、行政の担当者又は、大学関係の専門の方をつけて欲しい。
- ⑤人口減少が課題になっているが、食料に見合った適正人口になるので、あまり心配する必要はないと思います。
- ⑥子供が元気になれば、地域が活性化。地域全体で子育て。⇒子供を通じて、地域住民の出番がある。
- ⑦人材、リーダーの育成について、いろいろの方面の方に目を向けて、実際に活動可能な人材を選んで欲しい。
- ⑧リーダーとなる方のサポートをしっかりとお願いしたいと思います。
- ⑨今後のまちづくり集会の為にも、これに関する情報提供を、こまめにして欲しい。
- ⑩よく分からない。

**【安岡地区】**

- ①安岡は全体的に、まちづくりが出来ているので、改善すると良いと思う。
- ②安岡は大変地域活動に力を入れ、活動していると思います。このまま活動の幅を拡げていけばいいと思います。
- ③事務局職員が必要であれば事前申請を行い、公共性(日当の受け取り)を確保するため、市よりの派遣で行って出来るだけお金が動く事は、住民への透明性を確保して欲しいです。
- ④今後、推進会議等開催する場合、現役で仕事をしている者としては、メンバーに選出された場合、会議日時は、平日であれば18:00以後でお願いしたいです。
- ⑤多数の住民意見を吸上げ、活動につなげる。
- ⑥・若い年齢層の人を取込んで進めた方が良い。(長いスパンの計画のため。)
  - ・下関未来大学のPRをもっとお願いしたい。

**【吉見地区】**

- ①理念はよく判りましたが、これを下の方まで浸透して活かすには、随分時間と手間と人材が必要だと思えます。  
是非、確かな成果が生まれる様、期待します。私も微力ながら、協力を惜しみません。

- ②今日、具体的な話を聞きましたが、ハッキリした例とかがあるのなら、解かるかもしれないませんが、今回の話では、よくわかりません。勉強をしたいと思います。
- ③個人レベルで協力してくれる人と、そうでない人との温度差が結構あると思うので、なるべく声掛け等をして、住みやすい地域にしていきたいです。
- ④今日の説明は一応理解出来たと思います。吉母の自治会長の発言は同感で、私が発言しようと思ったところです。
- 課題・問題を共有し、問題解決を計るには、相当のエネルギーが必要でその間、組織メンバーの頻繁な話し合い協議が必要と考えます。
- 従って、話を煮詰めるには集まりやすいエリアが必要であると思います。従って、吉見全体の中の吉母の問題整理は、絞り込みが必要と考えます。
- ⑤任意団体である協議会に対する支援金については、法的にしばられるものはないと思うが、単市費で類似の事業があるか？

### 【川中地区】

- ①住民全員参加でないと、活性化していかないので、いかに情報を流し、協力体制を得ていくかが重点目標となると思う。好きな人だけが、何か行事をやっているのでは進まない。
- 何丁目単位の集会で意見を聞く、どのような事が困ったことか、どこをどうしていけば住みやすくなるか、防災の件、一人暮らしの老人の件、細やかな問題一つ一つを取り上げて、意見を聞いて、それを集約していく事が大切。
- 専門的な知識も必要となるので、市の職員もしっかりご協力いただいて、ご指導いただきたい。
- ②放課後、子ども達が集う場所があったら良いと思います。
- ゲームをしたり、宿題をしたり、工作したり、自由に過ごせる場所、そこに行けば地域の方がいて、甘えられる。習い事の合間のホッとする時間を過ごして欲しい。子どもの育成も大事だと思います。例えば、ゆたか児童館みたいな場所。
- ③川中地区については、各自治会や団体の活動などがあり、それぞれで進めている。新たに考えられるまちづくりは、これらの活動の延長でいいのか？
- 市長の話や資料を見ると、それより更に踏み込んで、行政の役割まで行うことになるのか？目指す所をはっきりとして欲しい。
- ④・長期的な活動にするのであれば、長期的に関わる人材を確保する必要があると思われるので、充て職的に仕事（役割）をこなすより、能動的に関わる形を作る必要がある。
- ・地方分権と言っても、インフラ整備や施設利用等、自由度をある程度与えてもらえるのか？
  - ・市全体としての、まちづくりの方向性と各地区の方向性がズレていくことが生じた時に、どちらを優先するのか？

・情報公開という手段として、ホームページでというと、ホームページを見ない限り伝わって来ないという事を、情報が伝わりやすい様にSNSの活用等を考えておられるのかどうか、今後の方向性が知りたい。

⑤住民の1人として、参加型で協力したい。

⑥垢田の住民の一人です。川中連合から垢田を離したくありません。離れたくありません。よろしく！

⑦まちづくりに関しては、声をかければまだサポートをしてくださる人材が埋もれていると思います。その方達をいかに、参加していただく努力を私達がするかどうかで、これからの地域発展が考えられると思います。その時に、市の職員の自主参加の力が必要なのです。

60代・70代のおじさん、おばさん達が夏祭り・文化祭・コスモス祭りなどイベントの前には、みんなで草取りをしてきれいな場所でイベントをしています。

市役所の方は、知恵も力もあります。『馬関まつり』など市の大きなイベントがある時は、市職員あげて会場の草取りなどされたらどうですか？踊っていたりして、恥ずかしくなる思いがします。

草ボーボーです。シルバーに頼むのではなく、市の職員が交代で1年に何回かどこかでボランティアを必ずする様な、まちづくりを是非、市職員が先頭に立って動かして欲しいと思います。

⑧・自治会加入率のアップをし、コミュニティーを充実させ、まちづくりをし賛同してもらおう。

・若手（地域住人）のリーダー育成、活性化を意味する。

#### 【東部5地区】

②これからを担う若い方が参加しやすい会になりますよう、願っています。

仕事を持たれていても、参加出来る場にして欲しい。

②自治会に加入しない人には、市報等は配布しない様にしたい。

③産業（農業、林業含む）等の意見を聞いて決める。

④今後の取組において、いろいろな意見が出て来る。その時点で意見を述べたい。

⑤1) サポート職員は絶対必要である。事務局を支所内（公民館）に置き、情報の収集発信を行うまとめ役が必要である。

2) 限界家庭・限界集落・個人主義者（家庭）はおまかせ自治会、おまかせ文化、スポーツイベントの考え方で参加しないのが現状である。これらの人達をいかに参加させ、コミュニケーションを取ろうと努力している中で、大きな住民自治によるまちづくりを活動することにより、おいてきぼりにさせない様にすべきである。（吉田地区）

・まちづくりは必要⇒但し、自治会単位を大きくすべきではない。

⑥・まちづくりを推進する点で「テーマ」を設けてどのような街にするのか、まずテーマを設ける。

・まず何でも良いから、共通の行動を起こす。⇒防災・清掃等

- ⑦若い世代の人の参加が欲しい。
- ⑧各地区で違う課題をどうまとめるか、難しい。
- ⑨自分の住む町をどういった町にしたいのか、という意見を持っている住民が少ない。  
リーダーが一生懸命になっても、空回りするばかり。  
住民意識を高めるための方法を考えるのが先決と思う。
- ⑩絵に描いた餅、本末転倒にならない様な組織づくりが必要。  
各自の負担が増大しても良くないが、活動の頻度が少なければ活動・組織の意味がない。旗振り後は、機動力のある若い人が就くべきだと思う。  
旧態依然とした活動・組織にならない様にすべき。
- ⑪年配者が参加する取組、例えば下関一斉交通安全の取組を年配者をお願いする。
- ⑫・組織づくりにおいて、次世代メンバーをどう取り込んでいくか、今後の大きな課題となる。本日の各組織の代表は高齢者が多くみられる。  
・これまで、東部5地区は交通の要衝でありながらも、5地区が共通した「まちづくりプラン」を持ち合わせていなかったため、これを機会に共通課題を発掘し、協議していきたいものである。
- ⑬住み良い町づくりの為には、地域住民が一つの目的を持って同じ方向を向いて、進める事が望ましいと思いますが、その為には、情報提供と各々の意識改革、相互のコミュニケーションが大切になるのではないのでしょうか？  
土台が出来て、その上に知恵が乗って、住み良い町づくりが出来ればと思います。
- ⑭資料のまちづくり集会2014の文字が小さすぎて読めない。空白は多くあるのに、文字が小さいのはなぜでしょうか？

#### 【長府地区】

- ①現在長府地区が活発な活動・まちづくりができてきているのは、地域の皆さんの協力があってこそできていると思う。「まちづくり協議会」を設立する主旨はお話である程度理解できたが、人材不足、後継者問題が何処の地区もあるかと思えます。  
長く歴任される方は、ほとんど兼任されている方ばかりなので、ほとんどが会議に出席されている状況だろうと思います。仕事をしながらでも、協力できるような企業の支援も願います。
- ②組については必要と思いますが、これからの5年間位の計画にしては集会の役員に高齢者が多いと思う。組織団体の中で人材をもう少し育成をして取り組める、もう少し若い方々の意見や活動を希望します。高齢の集まりでは、前に進みにくいのでは？  
行政の方々も仕事としないで、まちづくりの地域の団体とのつながりを大切にして欲しい。
- ③長府に勤務して十数年経ち、私も含め、まわりも高齢化してきたなと感じています。  
住民自治によるまちづくりを推進していく上で、何か協力できたらと思います。
- ④まちづくり、とても良い考えだと思います。若者、一般の方、サラリーマン、主婦の方も、この会に参加しやすい様に持ちかけて頂ければ助かります。

- ⑤長府地区の高齢化で若い人の参加が多ければと思います。
- ⑥新たに始めることよりも、今やっていることに見切りをつけてやめることの方が難しい。負荷のかかるものは、継続するのが大変。
- ⑦この件について、行政より地域の企業に強くPRしてもらい、企業の現役社員等にも参画してもらおうようになって欲しい。このようにしたいと思います。
- ⑧行政指導で地域リーダーの育成を計画的に（特に若い人（50～60歳））取り組んで欲しい。
- ⑨子ども達の意見（まちづくりの）もあればと思います。
- ⑩隣は何をする人ぞと言ってもいい位、全く交渉（話）のない人がいます。1年1回の総会にも参加する人は少ない様です。せめて、ゴミ出しの朝位、お互いご挨拶したいものと思っています。高齢者になると、色々ある催しにも参加出来る事が少なくなり、せめて、向こう三軒両隣でも時々は話したく思っています。
- 1. 先ずは一人一人の話し合いから
- 2. 高齢社会になり若い人達の参加が必要とされる今、市内での事業を営む者又は、市内に存する事業所に勤務する者の市民等には、各々の地域の役割として要請も大事な事ですが、市としてもその事にも力を出して欲しい。
- ⑪・会の運営にはしっかりした事務局体制が必要だと思います。

⇒補助金又は交付金の問題

- ・若い人達の次代の地域リーダー育成が重要。未来大学受講者の方々よりリーダーを見つけ、育成する事
- ・現在の職員の方々の意気込みを期待したいと思います。
- ・トップセールスの中尾市長の心意気を大切にしたい。
- ・構成メンバーも充て職ばかりより、公募も。

### 【長成地区】

- ①高齢化に向けて、市として高齢者対策を掲げて、高齢者先進市として、位置付けて欲しい。その中で、まちづくり協議会が手足となって取り組めるかと。
- ②人材育成
- ③本協議会が現存する各組織の活性化につながり、実効性のある協議会となるような組織作りが必要と思われます。
- ④子どもと保護者と地域のつながりを大事にする為、生徒と保護者と地域の活動をする必要あり。
- ⑤伝わりが悪い。他市での具体例などをもっと紹介し、具体的に視覚的に説明して欲しいと感じた。
- ⑥とても良い事だと思いましたが、方向性をもう少しまとめてから皆さんの方へ投げて下さったらと思います。しっかりと聞いておりましたが、アバウトすぎてつかめない事も多かったです。
- ⑦メンバーが実際に取り組む内容（仕事）がなかなか理解出来ない。  
地域の問題点（課題）を検討するか？課題を行政に提言（要望）するか？

- ⑧・食推の活動はなかなか知られていないのが現状。現在の活動は長府公民館（長府地区）を中心としている。多くの方に活動を知ってもらいたい、参加してもらいたいと思っている。
- ・まちづくり協議会の組織の中のつながりで広めていけたらと思う。
  - ・先日、市の関係職員に相談させてもらったら、快く協力していただけることになった。市の職員のサポートは心強い。
  - ・住民自治によるまちづくり、横のつながりは良い事だと感じた。
  - ・実行するにあたっては、大変な労力があると思う。
  - ・一団体の個人の意見なので、どの様に関わって行くのかは、不安である。
- ⑨・初めての参加で主旨は理解出来ました。
- ・実際の協議会の設立、運営に関しては全体像がつかめていません。
  - ・中学校地区単位の協議会の中で、自ら考え地区に合った取組をせよと言われても、現段階では未だ良く理解出来ていません。
- ⑩地域別にされる事はいいのですが、自治会長他、多くの方々の参加が必要と思いますが、市のお考えを加え、検討していただきたいと思います。
- 若い方を是非多くお願いしたいと思っています。よろしくお願いします。
- ⑪活動部会、別々に会をはかった方が内容が同じで、いい勉強になりそう！
- 若い力の育成！（40才代～50才代、定年退職になったばかりの方。自分の団体は山の作業で、登山道保全のため）
- 市の広報でPRが出来るものか？
- ⑫・花壇の草取りが大変（学校の子ども達も動員出来ればなと思います。）
- ・個人情報が大変困っています。

### 【向洋地区】

- ①・向洋校区は、非常に高齢化が進んでおり、若年層の流入は少ない。
- また、川中などは若年層は非常に増加しているが、マンションの入居のため、PTA活動等への参加は少ない様だ。
- ・住民自治のまちづくりは、あたかもPTAの役員を集めることと似ている。PTAの役員集めは非常に苦勞している。しかし、何とかPTAも進めているので、まちづくりも時間をかけつつ、ゆっくり進めていく必要はあると思います。
- ②市政の多様な情報を各地区に対して分かりやすく説明をして、ホームページ等を通じて発信をしていく。
- ③後田町自治会連合会について
- 私達の所属する連合自治会は、11自治会が集まって結成されていますが、日新校区と向洋校区に分かれていて、夏まつり等は一緒に行うことが困難です。
- 日新校区5自治会、向洋校区6自治会です。従って、連合会で取組みが困難です。
- 現実には、向洋校区の夏祭り、盆踊り大会は、ひまわり公園にて11年間行っています。校区別まちづくりが進んでいくと、後田町自治会連合会は、ますます二分される心配があります。

④役員に参加だけでなく、一般の方が参加出来る様にして欲しい。

#### 【山の田地区】

①準備委員会等の設立・稼働までは、行政がしっかり指導いただきたいと思います。  
②行政に関する各種の組織がある。更に新たな組織を作るのであれば、各種組織の整理統合を早く考えて欲しい。

一度、行政の役員（自治会）になると充て職が多く発生する。力の分散にならないか？

③すすめようとしておられる計画の主旨は、現下においては、理想的な取組だと思います。市とされては、サポートをよろしくお願いいたします。

④時間の関係で、質問が出来ませんでしたので、一言お話したいと思います。

私は、地域の方々を集めて、食生活に関しての料理講習会を年4回ほど、北部公民館を使用させて頂いていますが、調理室の使用申し込みは婦人センターの方で、1か月前よりしか受け付けしていただけません。

1か月前に公民館（婦人センター）の方の書類を提出して頂いています。

それも、公民館（婦人センター）の都合で、その月日はダメと言われた事もありますが、私達がスムーズに活動できる様、ご配慮願いたいと思います。

公民館と婦人センターの両方あるので、他の公民館では、一つの窓口で申し込みが年間分出来る事も羨ましく思います。⇒後で説明を聞き、解決済み

⑤子どもの事、障害者、高齢者に関する取組みが様々に行われているか、それぞれがバラバラで連携が難しい現状と思う。まちづくりの視点で、地域の担い手が繋がり、視野を広げて取り組めば、より良い実践が出来ていくと思う。

⑥・今日は、会議の参加者の人選→年齢の設定

・実際に働いている人、名前だけの人もある？

・議員後援会役員が委員？

#### 【東部・中央部地区】

①きちんと専属（兼務だといいい加減になる。）の人間を置き、事務局としてリーダーシップをとらせてやらないと義務的な活動になってしまう。全てボランティアでやろうとすれば、うまくいかないと思う。

②自治会とかでは、随分話が進んでいる様ですが、初めて参加した（保推）等は、全然ピンと来ませんでした。しかし、地域の（協力）まとまりは必要と感じます。

③準備期間が必要と思う。スタートを急ぎ過ぎる感じがする。組織を作ってから下部（住民）へというのか、下部から組織へという方向か検討の必要あり。

④貴船は公民館がなく、中心がない。公民館活動で地域がまとまっているので、その様な所を望む。

⑤何かあれば協力したいと思います。



⑥初めて参加をさせていただきましたが、内容がまだ頭の中でグルグル状態ですので、しっかり資料に目を通し、理解していきたいと思います。よろしく願いいたします。

⑦今後前向きに協力し市勢に協力し、下関市の発展に役立ちたい。

⑧事務局に重点を置いて欲しい。

⑨市長のお話にも、観光資源の整備、特に下関駅付近から唐戸、壇の浦、長府外浦に続く関門海峡沿いの海岸線歩道整備がありました。これらの進捗状況をお伺いしたいと思います。

現在、毎年11月に下関海響マラソンが開催されております。この大会に、毎年全国から1万人を超える人が参加され、大変好評を博しています。マラソン参加者が非常に楽しみにしていることは、海峡沿いの景観を楽しみながら走ることです。

また、多くの下関市民がこれに触発され、この地域を一年を通して、走ったり歩いたりして練習・健康づくりに利用しています。

ところが、赤間神宮前から人道口にかけての歩道が大変狭く、不便を感じています。特に壇の浦漁港と人道口までの間の整備が早急に進むことを望みます。

⑩既にたくさんの組織があるので、全てを横に並べて行くのは、体力も気力も必要だと思います。ただ、団体としての力強さを出して行くには、既存の組織が発展的解散も視野に入れて行く必要があると思います。

私の意見としては、まちづくり協議会を唯一の団体として、既組織は部会として残る方がスムーズに行くのではないかと思います。

そして、既存の折には、様々な弊害があるのも事実です。大きい組織が主導権をとるのではなく、幅広い世代が集まって考えて行ける場を望みます。

#### 【彦島地区】

①このまちづくりに関して、住民の方が分かる様に、説明の機会を増やして欲しい。

②自分も含めて、代表で参加されている人達の年齢も高齢の方が多く、5年先には今の役をされていない人もいると思われるので、もっと若い方にまちづくり委員になっていただいて、何年か先を見据えて、まちづくりを考えて欲しいと思います。

各自治会役員の役員を引き受けてくれる人も少ないと聞いておりますし、新しい考えをもってまちづくりを考えていくべきだと思います。横の連携を作るべきで、各団体の縦割りの今迄の組織に多少異議を感じておりました。

③地域を現在の連合とか、自治会単位から大きくする事は、人手不足や資金面等を考えると良い事だとは思いますが、逆に小さい単位での結び付きが弱くなってしまうのではないかな…との不安が残ります。身近に頼れたり、相談に乗ってもらいたいと思う人がいなくなったりしていくのでは…

#### 【西部地区】

①各自治会の充実があればこそ…だと思います。今のつながりをいかに密にするかが大事なことでないでしょうか…小さいことかも知れませんが、自分を取り巻く

コミュニケーションを広げることから、始めなければ…「まちづくり協議会」という大きな計画を与えられて…どうでしょうか？

- ②行政で地域に問題が出ない様、しっかりしたガイドラインを示して欲しい。コミュニティスクールは、あまりにも方向性が示されなかった為。
- ③この“まちづくり”の新しい組織として出来るところから、一步踏み出す。
- ④単位自治会では解決出来ないことというのは、地域によっては多岐にわたると思いますが、一つのテーブルで解決出来るのでしょうか？

#### 【豊浦地区】

- ①まちづくりは、まちをつくることだと思います。まちを守ること（防災、環境保全、子ども、福祉）は大切ですが、地域が続いていく為に、攻めること（まちを元気にする方法）がどの様に進められるかが、よく分かりませんでした。  
税金、財源に制約があるのは承知しています。行政のサポートだけではなく、「共働」「官民連携」が不可欠だと考えます。まちを元気にする方法を考える「総合政策部」さん「総合支所」さん「地域政策課」さんの具体的な取組が見える仕組みがない限りは、民間がどの様に参加すべきか、なかなか判断が難しいところです。
- ②広い下関市です。想定地区ごとに郷土性、個性あるビジョン、活動が出て来るでしょう。その時、「他地区では例がない」「他ではやってない」からを理由に、市行政側が消極的になることのない様、一例として、地域サポート職員の制度、資質を高められたく、参考として「奈良県庁まちづくりコンシェルジュ」を参照してみてください。協働連携の趣意に照らすと、サポートという言葉、表現は馴染むものではありません。
- ③・初めて参加しました。趣旨等は大体分かりましたが、今後少子高齢化が急速に進みますが、地区毎に開催していけるものかどうか？
  - ・中学校区毎に開催していけばと思う。
  - ・マニュアルを示して、実際実施している地区の説明をして欲しい。
- ④仕事の関係もありますので、早めに集まりの日にちの連絡をお願いいたします。
- ⑤1. 行政の陰での積極的なサポート 2. 行政の建前と本音をどう見るか
- ⑥各地区の活性化の活動がいっぱい、新しく作る会は難しいと思う。

#### 【豊北地区】

- ①少子高齢化時代といわれる中で、少子に焦点が移っているが、高齢化の方も喫緊の課題の様である。老人が安心して暮らせる社会の構築が最も不安でこの問題の解決に力を置いてまちづくりを進めて欲しい。つまり、今後の豊北町は老人天国という訳である。老人の年齢等、莫大な資産であろうと思う。
- ②活動部会の例が、豊北の実態から離れている。中山間の農業・漁業の関係部会がない。U・I・Jターンによる活性化の部会も欲しい。IT化、MLリストの活用で効率よい情報発受信の体制づくりを進めて欲しい。

- ③・住民がまちづくり協議会に対して、やって欲しい事業を広く吸い上げる体制づくりの整備（HPやメールで要望する）
  - ・住民がまちづくり協議会の活動に参加し易い体制、情報提供をしっかりと周知できる様、広報をしっかりと欲しい。
  - ・地域内を活性化するため、若い世代の定住化を図るための施策の充実、Iターンの促進、移住者への支援に積極的に取り組んでは??
- ④過疎化・高齢化、人材確保、児童・生徒の減、空き家対策
- ⑤豊北町は農林水産業が主産業で、第一次産業として、生計を立て生活している状況です。今日のお話の中で、部会が総務部会等、5項目が挙げられているが、私の思いは、この部会以外に、農林水産部会の設置を要望したいと思いますが、ご検討をお願いいたします。
- ⑥過疎地域であり、また辺地もあり、まちづくりには、過疎債・辺地債を活用して、財源の活用にもraitたい。
- ⑦必要性は十分あります。もっと会議を重ねる必要があります。
- ⑧お陰様で、今、私の住んでいる地域はお年寄りの方がとても元気にいらっしゃるので、高齢の方の力をフルにお借りして、まちづくりをしていけたらと思います。現状の自治体の形を維持しながら、サポートをいただければと思います。まちづくり研修会（大学教授や各専門家による）があれば、参加してみたいと思います。
- ⑨豊北町は少子化で子ども達が減少している中、どの様にすれば人口増加になるか考えながら、まちづくりに力を入れていただき、他地域より呼びこみ人口増加につながると良いと思われるので、行政でも力を入れて欲しい。

#### 【勝山地区】

- ①地域住民としては、これまでも住民自治による将来計画に基づき、予算面でもお願いして来たと考えています。今回、提示されました、まちづくり計画に沿うと、どのようなメリットが生まれるのか、もう少し説明してもらいたかった。
- ②もっと勉強しなくてはと思います。
- ③サポート職員の資質向上が必要と思う。
- ④勝山地区は既に各組織があり、互いに共同体制をもっており「ひとつにまとまるために」という点において、本日の説明は大変良かったように思いました。ただ、「一般」的な話が多く、時間ロスが多かったように感じました。他地域と比べて、我が勝山がまとまりのある地域だと自負することが出来ました。今後、まとまりを持った「勝山」でありたいと思います。ありがとうございました。
- ⑤良くわからないまま参加いたしましたが、行政が何か推進したいのだということだけは、分かりました。勝山地区は、ボランティア精神旺盛な人も多く、納得出来れば皆、頑張ると思います。今回参加して感じたことですが、既成の「ふるさと勝山のあすをつくる会」というのがるのであれば、その方達としっかりと打ち合わせをして、足並みを揃えて出発

出来れば、力が分散せずに、出来るのではないかと思います。ネットワーク作りが大切だと思っているので、人と人との理解をすすめるための、場・時間をうまくつくる事が出来れば推進しやすくなるのではと思います。

個人的には、下関未来大学に少し興味が沸きました。

市長の話は、行政の都合があるのか、急がされるというか、押しつけられている感じがしました。市がボランティアに関する事のお金に税金をかけた話が出ましたが、私達も色々耳にしています。それは、やはりボランティア活動に対してマイナスだと思います。

- ⑥情報共有や、人材確保、育成を考えると、必要だと思いますし、素晴らしい取組だと思います。ただ、資料から設立に対してものすごい労力があるなど、不安の方が大きいです。地域の中で、議会ができる様なイメージがどうしてもぬぐえないです。これからも地域が、話し合っ、良い方向にいけばいいと思っています。
- ⑦既存の各団体との連携、役割分担について、目安を示して欲しい。

#### 【内日地区】

- ①地域の活動に対する思いを、行政が「これはだめ、これは認められない」と言って潰すことがないようにしていただきたい。
- ②とてもいい取組だと思います。地区民全体で盛り上げて、素晴らしい地区にしていかなければならないと思います。
- ③内日地域では圃場整備の件も進行している。今日のこの事とは、切り離してはならない事案と思う。委員も両方の関係者を集め、同時に話を進めていった方がいろいろ良い意見が出るのではないかと思います。
- ④空き家を活用して、何かに利用出来ないかと思うのですが。（例えば訪問介護施設とかに。）
- ⑤アンケートの7の問いについては、内容や頻度によります。

#### 【豊田地区】

- ① 豊田地域では、5地区の自治連合会がある。それぞれ各地域で、各団体の連携は良くとれていると思う。  
今回の市からの提案は「上から目線」的で、これでは、住民が主体となった活動に結びつかないのではないかと。  
従って、豊田町内では、まず、5つの地区で協議会をつくり、それをまとめて「豊田町ものづくり協議会」にした方が良くと思う。  
この会長の会は、今は各地区の相互の連携調整をして、実際の活動は5つの地区それぞれの活動を強化していけば、全体が前進していくものと考えます。
- ②話が漠然としすぎて、分かりにくかった。ある程度の組織は出来ていると思うので、連携していく方法をもっと協議して、より良い会を発足すべきだと思う。
- ③私を含めて、今、進めようとしているまちづくりとは何かほとんど分かっていない。まちづくりは、課題解決の組織だと定義づけると理解しやすくなる。

何よりも、今、何故このような会を作らなければならないのか、全市民が理解できるようにする、市の職員の研修会がこれからというのは遅い。

④市長は、人・予算を用意してあるとおっしゃっていたが、交付金などがあっても使用に難しい資金ではまちづくり活動がしにくい。

まだまだ意見を聞く組織があるのではないか。

⑤合併10年を迎え“良かった”と思えるのは、住所欄に「下関市」と書ける事くらいで、その他はあまり利点を感じられません。

歯止めかからぬ「人口流出」「少子・高齢化」・・・

本事業を推進する為には、やはり「人材」だと思う。すぐに効果が出るわけでもないが、リーダーとなる資質の人材育成が必要。（研修等への参加→希望者は全員参加出来るのか？）

⑥・合併時に豊田は、農林業ゾーンに指定されました。

特色ある農業実践のため努力している既存の団体に活動支援を実施しては。産業部門・環境部門などは特に。（協議会の立ち上げで組織が増えるばかり 事務量は無駄では？）

・組織のあり方として、中学校区だけの判断では人口割だけが重視される。面積・距離等はどこに反映されるのか？（17カ所でよいか）

⑦新しい組織を結成するより、現在の各種組織の活動を充実する方が良い。

⑧PTAは年ごとに色が変わり、上位組織は難しい。目的、ゴール共にもう少し明確な物が欲しい。

⑨現在の組織の助成金を増やして欲しい。会場を自由に使える場所が欲しい。

## 平成26年度 まちづくり集会 アンケート

今後、住民自治によるまちづくりを推進していくうえで参考としたいので、アンケートにご協力ください。

1. あなたの性別をお答えください。

- a.男 b.女

2. あなたの年齢をお答えください。

- a.20歳未満 b.20～39歳 c.40～59歳 d.60歳以上

3. 「住民自治によるまちづくり」について理解できましたか？

- a.理解できた  
b.まあまあ理解できた  
c.理解できなかった  
d.どちらともいえない

4. 今後、下関市において「住民自治によるまちづくり」が必要と思いますか？

- a.必要 b.まあまあ必要 c.必要と感じない d.わからない

5. 今後、あなたの地区で重点的に取り組むべきことは、どのようなものと思いますか？ 3つ選び○をつけてください。

- a.地域資源の発掘と活用 b.祭りやイベント c.共同作業（清掃、草刈）  
d.防災・防犯活動 e.高齢者等の見守り f.健康づくり  
g.子ども及び青少年の育成 h.他地域との交流 i.地域特産品の開発等  
j.社会教育活動 k.地域交通 l.情報の共有  
m.その他（ ）

6. あなたの地区の「まちづくり協議会」の活動拠点として、活用したいと思う施設はどこですか？

- a.公共施設等【公民館・老人憩の家・町民館（自治会集会所）、その他（ ）】

※公共施設等の中で該当する施設に○をつけてください。その他、具体的な施設があればご記入ください。

- b.民間施設（民間テナント、空き家など）

c.その他（）

7. あなた自身は、どのようにまちづくりに参加しようと考えていますか？

- a. 自らがリーダーとなり、まちづくりに参加したい
- b. リーダーのサポート役として参加したい
- c. 参加を求められれば参加しても良い
- d. 参加を求められても参加したくない

8. 今後、地域活動を推進していくうえで、特に行政に対して何を求めますか？2つ  
選び○をつけてください。

- a. サポート職員
- b. 補助金又は交付金
- c. 活動場所の確保
- d. 情報提供
- e. 地域リーダー育成
- f. その他（）

9. 住民自治によるまちづくりに関して、ご意見がありましたらご記入ください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。